

主要出版物

【出版物購入方法について】

- ・ FAXまたはハガキでの申込（送料はお客様負担となります）
FAX番号 03—3435—7576
- ・ 当機構HP上の「購入申込書」を印刷し、必要事項をご記入の上、FAX願います。
- ・ ハガキの場合は、送付先住所、氏名（会社名等）、電話番号、購入書籍名、購入冊数をご記入願います。

新刊

1

図解不動産業

建物賃貸借トラブルの実例と解決

監修:財不動産適正取引推進機構
著者:村川隆生(調査研究部 首席主任研究員)
画:藤井龍二 発行:株住宅新報社
平22.12刊/B5版 254頁/税込 1,785円

「不動産売買トラブルの実例と解決」の姉妹編。さまざまな建物賃貸借のトラブルを①契約・入居までのもの、②入居期間中のもの、③退去・明渡しのものに分けて、実務での考え方などについて法律の規定や裁判例も紹介しながらわかりやすく解説したもの。マンガを併用して読みやすくしてある。

2

不動産取引紛争に関する留意点 ～予防と対策～

【財団法人 不動産適正取引推進機構
研究理事・調査研究部長
周藤 利一氏 講演録】
平22.8刊/A4版 78頁/税込 525円

宅建業者の調査、説明義務の基本的な考え方を確認したうえで、眺望、日照、土壤汚染、

アスベスト等の取引において問題になりやすい事項について、紛争予防の観点から宅建業者が留意しておくべきことなどをわかりやすく講演されたもの。

3

(平成22年度版)

不動産売買の手引

平22.6刊/B5判 58頁/税込 126円

不動産を売買（主として購入）する方々が、トラブルに巻き込まれることなく、安全な取引をするために注意すべき事項を取引段階（①購入計画、②事前調査、③物件調査、④契約締結、⑤決済引渡）ごとに分かりやすく説明した小冊子。

4

(平成22年度版)

住宅賃貸借(借家)契約の手引

平22.6刊/B5判 46頁/税込 126円

賃貸住宅の契約について、①全体の流れ②入口（契約、入居時）③居住中（契約の更新等）④出口（退去時の原状回復等）の順に、

借主、貸主等当事者がトラブルに巻き込まれないよう、注意すべき点を分かりやすくまとめたもの。

5

最近の宅地建物取引紛争事例から見た取引上の問題点

【弁護士 岡本 正治 氏 講演録】
—平22.5刊/A4判 44頁/税込 525円—

最近の取引に係る紛争事例から民事上の問題点と宅建業法上の問題点を検討し、媒介業務における「取引の公正」をどのように考えたらよいかについて、わかりやすく講演されたもの。

6

最新・宅地建物取引業法 法令集

—平22.4刊/A4版 203頁/税込 525円—

平成21年10月1日現在の宅地建物取引業法及びこれに基づく法令で特に基本的なものに限定し、併せて、宅地建物取引業法の解釈・運用の考え方を掲載している。

7

わかりやすい 宅地建物取引業法

監修:財不動産適正取引推進機構
著者:周藤利一(研究理事・調査研究部長)
河井睦朗(国土交通省土地・水資源局
地価公示室長)
発行:株大成出版社

—平22.2刊/B5版 446頁/税込 2,940円—

宅地建物取引業法の基本的な理解を目的として、宅地建物取引業法の条文に沿って、その趣旨、解釈、運用、留意点等をわかりやすく解説している。

8

不動産取引と不動産市場の特質

—売買を中心として—

【財団法人不動産適正取引推進機構
会長 平井 宜雄 氏 25周年記念講演録】

—平22.1刊/A4版 37頁/税込 525円—

市場型契約と組織型契約の概念に基づき、売買を中心とした不動産取引と市場の特質について体系的・理論的に解明し、市場の活性化方策について提言していただいた。

9

売主・貸主の破綻と媒介業者の責任

【弁護士 宇仁 美咲 氏 講演録】

—平21.11刊/A4版 56頁/税込 525円—

取引の当事者が破産、倒産した場合の債務整理の方法等と宅建業者の媒介上の留意点について、事例を紹介しながらわかりやすく講演されたもの。

10

不動産取引用語辞典(8訂版)

監修:国土交通省総合政策局不動産課

編著:不動産適正取引推進機構

不動産流通近代化センター

不動産証券化協会

発行:株住宅新報社

—平21.10刊/A5版 480頁/税込 2,520円—

不動産取引用語及び関連の用語を体系・網羅的に収集して取引の適正化・合理化・トラブルの予防等に資することを目的に編集。八訂版は瑕疵担保履行法の制定、宅建業法等その他関係法令の改正を踏まえ、大幅に見直し、約1650語を収録している。

11

図解不動産業

不動産売買トラブルの実例と解決

監修:財不動産適正取引推進機構
著者:村川隆生(調査研究部 首席主任研究員)
画:藤井龍二 発行:株住宅新報社

平21.10刊/B 5 版 240頁/税込 1,785円

取引実務における基本的な問題や、よくあるトラブルの事例をとりあげ、トラブルを未然に防ぐための調査や説明方法、宅建業法の規制、トラブル解決への考え方等についてまとめたもの。“マンガ”もつけて読みやすくしてある。

12

近時の判例に学ぶ 瑕疵担保責任と宅建業者の説明義務

【弁護士 熊谷 則一 氏 講演録】
平21.4 刊/A 4 判 88頁/税込 525円

近時の判例をフォローしながら、瑕疵担保責任に関する問題と媒介業者の説明義務について、裁判所の考え方等をわかりやすく講演されたもの。

13

最近の不動産取引に係る相談事例と行政処分について

【東京都都市整備局住宅政策推進部
不動産課長 鈴木 正巳 氏 講演録】
平20.10刊/A 4 判 60頁/税込 630円

東京都における最近の紛争事例や指導の状況について、最新のデータを使って、わかりやすく説明していただいたもの。

14

最新・不動産取引の判例

平20.6 刊/A 4 判 467頁/税込 2,100円

平成11年10月以降に公表された不動産取引に関する最新の620判例を売買、賃貸借、マンション、近隣紛争等、幅広い分野から収録したもの。

15

金融商品取引法の施行と不動産業

【弁護士 田村 幸太郎 氏 講演録】

平20.5 刊/A 4 判 182頁/税込 630円

「金融商品取引法が不動産業に与える影響」というテーマを中心に、規制の内容、実務上の注意点、金融商品ビジネスの将来展望まで、わかりやすく講演されたもの。

16

宅地・建物取引の判例(9)

平20.2 刊/A 5 版 248頁/税込 1,400円

平成15年から17年における不動産取引に関する主要な裁判例について、事案の概要と判決を簡潔に取りまとめ、106事例を収録したもの。

17

**新不動産登記法(概説)と
中間省略登記の実務**

【司法書士 相馬 計二 氏
司法書士 片桐 みゆき 氏 講演録】
—平19.12刊/A 4 版 63頁/税込 500円—

新不動産登記法の改正のポイントと、原則としてできないとされる中間省略登記の諸問題について、事例を紹介しながら講演されたもの。

18

**望ましい重要事項説明の
ポイント(3訂版)**

—平19.11刊/A 5 判 174頁/税込 1,680円—

平成3年10月に初版、平成14年2月に改訂版を発行したものを、その後の諸法令の改正等を踏まえ改訂したもの。依然として最も紛争の多い重要事項説明について業者として留意すべき事項について、実務に役立つことを主眼として解説している。

19

不動産取引紛争と対策

—予防法学(紛争の未然防止)の見地から—
【弁護士 宇仁 美咲 講演録】
—平19.9刊/A 4 版 55頁/税込 500円—

不動産取引の営業段階、契約締結段階において、何をどこまで説明する義務があるのか、将来的なことはどこまで説明しなければならないのか等について、具体的事例に基づきわかりやすく講演されたもの。

20

**原状回復をめぐるトラブルと
ガイドライン(改訂版)**

—平16.2刊/A 4 判 110頁/税込 900円—

賃貸住宅退去時の原状回復をめぐるトラブルについて、費用負担等の望ましい考え方等について、裁判例等も踏まえ、分かりやすく説明したもの。

21

**不動産売買における
媒介報酬の解説**

—平15.12刊/A 5 判 260頁/税込 2,730円—

不動産売買における媒介報酬について、できるだけ理解しやすいように、89の判例とともに解説している。

発行 (株)住宅新報社

22

**不動産取引の紛争事例にみる
新トラブルはこうしておきる**

—平15.12刊/B 5 判 231頁/税込 1,680円—

宅地建物取引業者や不動産取引にかかわる一般の方々のために、実際の紛争事例を題材にしてわかりやすく解説し、参考資料も示したもの。